

平成 30 年度からの新たな補助事業メニューについて

「サービスロボット実用化」

2020 年に愛知県で開催される「World Robot Summit」において、本県ロボット産業の技術力を世界へ発信するため、会場である中部国際空港島において社会実装することを目指したサービスロボットの研究開発や実証実験を支援するメニューを設定しました。

これは、県内に事業所を置く企業によるサービスロボットの研究開発及び実証実験に係る経費の一部を補助するものです。

補 助 率：大企業 2 分の 1 以内、中小企業 3 分の 2 以内

補助限度額：2,000 万円

対 象 経 費：部品・原材料費、機械装置費、委託・外注費、実証実験協力費、広告宣伝費等
(既存の「研究開発」「実証実験」と同じ。)

実 施 条 件：①サービスロボットの実装を想定する施設や事業者等と連携し、研究開発や実証実験に取り組むこと。

②ロボット革命イニシアティブ協議会が公表する「生活支援ロボット及びロボットシステムの安全性確保に関するガイドライン」を遵守すること。

<https://www.jmfrri.gr.jp/content/files/Open/2016/SWG2GL.pdf>

③World Robot Summit の会期中(2020 年 10 月上旬)に中部国際空港等において、社会実装や試用等により、一般に披露できること。

研究開発「トライアル型」

研究開発に意欲のある中小企業の裾野を拡大し、愛知県の産業を支える中小企業の産業競争力の底上げを図るため、過去に本補助金の採択実績がない中小企業を対象とした「トライアル型」を設定しました。

補 助 率：3 分の 2 以内

補助限度額：500 万円

対 象 経 費：部品・原材料費、機械装置費、委託・外注費(既存の「研究開発」と同じ)

トライアル型採択の対象となる条件：

①過去に新あいち創造研究開発補助金の採択実績がない中小企業であること。

②補助金申請予定額が 500 万円以下の「研究開発」であること。

③公設試験研究機関や大学等と連携して実施するものであること。